

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公表番号】特表2003-507007(P2003-507007A)

【公表日】平成15年2月25日(2003.2.25)

【出願番号】特願2001-503640(P2001-503640)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/01 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/01

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月29日(2006.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1マイクログラムの精製された非変性gp35タンパク質、例えば精製されたバクテリオファージT4 gp35タンパク質を含む、ゲルではない組成物。

【請求項2】

配列番号2のgp35タンパク質配列のアミノ酸番号1～24のうち少なくとも8個の連続したアミノ酸を含み、gp35タンパク質の1以上の機能的性質を示す、精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項3】

配列番号2のアミノ酸配列に対して1以上の保存的置換を有する配列を含む、精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項4】

配列番号2のアミノ酸配列のアミノ酸残基1から93を含み、配列番号2の該配列に対して1以上の保存的置換を任意に有する、請求項2に記載の精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項5】

配列番号2に示したアミノ酸配列を有するgp35タンパク質に対して少なくとも60%の同一性を有する、100アミノ酸のアミノ酸配列を含む請求項2に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 6】

gp35タンパク質に対する抗体によって結合され得る、請求項 2 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項 7】

少なくとも配列番号 2 のアミノ酸番号 1-17、1-56、1-78、1-93、8-17、57-93、57-64、66-79、または 81-93 のアミノ酸配列の部分を含む、請求項 2 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項 8】

配列番号 2 に示したアミノ酸番号 1-17、1-56、1-78、1-93、8-17、57-93、57-64、66-79、または 81-93 のアミノ酸配列からなる、請求項 2 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項 9】

配列番号 2 に示した配列の少なくとも 10 個の連続したアミノ酸を欠失している、請求項 2 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項 10】

バクテリオファージ T4 の P34 タンパク質オリゴマーと特異的に結合する gp35 の機能的性質を保持し、任意に 1 以上の保存的置換を有する、請求項 2 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の精製されたペプチドまたはタンパク質。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載のペプチドまたはタンパク質をコードする、精製された核酸。

【請求項 12】

前記ヌクレオチド配列の発現を制御する異種プロモーターを含む、請求項 11 に記載の精製された核酸。

【請求項 13】

宿主細胞内において前記ヌクレオチド配列の発現を制御する異種プロモーターに機能的に連結された請求項 11 に記載の核酸を含む発現ベクター。

【請求項 14】

請求項 11 または 12 に記載の核酸を含む宿主細胞。

【請求項 15】

請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載のタンパク質またはペプチドを生産するための請求項 14 に記載の宿主細胞の使用。